

●澄んだ秋空のもと頬を撫でる透明な風を感じてみませんか

○どんぐりころころどんぶりこ 「秋の収穫散歩」してみませんか

秋の公方公園には、たくさんの種類のどんぐりがあります。形や特徴を覚えて秋の公園に探しに行ってみませんか。

- ①マテバシイはシイ類の一種で、細長い形の実を付けます。
- ②スタジイは常緑広葉樹で、強い耐陰性を持ち森の中で見られます。
- ③クヌギは雑木林の代表的な木で、カブトムシの食料としても重要です。
- ④シラカシ⑤アラカシは、常緑樹です。街路樹としても活用されます。
- ⑥トチノミは秋になると大きな実を落とし、その実はトチモチなどの食用の材料にも利用されます。



オニグルミの食用の歴史
古くからオニグルミは栽培されており、縄文時代の遺跡からもクルミの殻が出土しています。これは、当時からクルミが重要な食料資源であったことを示しています。



○公園名所案内 「若杉鳥子 長塚節歌碑」 切ない恋の物語

桃林の一角に、長塚節と若杉鳥子の歌碑が佇んでいます。そこには、古河生まれの若杉鳥子に一目惚れした長塚節の恋心と若杉鳥子の物語があります。二人は出会うことなく終わりを迎えました。切ない気持ちを詠んだ歌碑を見ながら、自身の昔日に想いをはせてみませんか。

- まくらがの古河の桃の樹ふゝめるを いまだ見ねどもわれ恋ひにけり 紅の下照り匂ふもゝの樹の立ちたる姿 おもかげに見ゆ 長塚節
- み歌今われなき家の文箱に忘れてあり身は人の妻まくらがの古河の白桃咲かむ日を待たずて君は隠れたまへり 若杉鳥子



10月の昆虫【エンマコオロギ】

コオロギの「コロコロコロ」という涼しげな鳴き声が聞こえはじめると、秋の訪れを感じます。エンマコオロギは、コオロギ属の中では最大で32mmほどになります。古くコオロギはキリギリスと呼ばれ、キリギリスはハタオリと呼ばれていました。古今和歌集には「秋風にほころびぬらし藤袴つづりさせてふきりぎりす鳴く」という歌があります。秋のフジバカマ（藤袴）が咲いた風情を袴のほころびにたとえ、そのほころびを冬に備えて「縫い合わせよ」と鳴いているという意味の歌です。



○10月の花・実・紅葉のご紹介 ⑨コスモス ⑩モチノキ ⑪カツラ

⑨コスモスは、秋を代表する花でメキシコ原産の1年草です。日本には幕末に渡来しました。⑩モチノキは、モチノキ属の常緑高木です。樹皮からは、鳥を取るための「鳥もち」を作ったことからトリモチの名称があります。⑪カツラはカツラ属の落葉高木です。ハート形の葉は秋に黄葉します。



★古河公方公園公式アカウントを開設しました！是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- ・Instagram @koga_kubou
- ・X (旧 Twitter) @kubou_park

